

2024-25 RIテーマ

ロータリーのマジック



WEEKLY

Rotary

Club of Toyohashi

RI D2760



2024-25 クラブテーマ

集い、学び、そして実践してこそロータリー
～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～

号外 2024.8.29

豊橋商業高校校長メッセージ

間瀬 泰宏 校長



日頃は本校の教育活動ならびにインターアクト部へのご支援、誠にありがとうございます。この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

さて、本校インターアクト部は本年度21名の新入部員を迎え、例年になく活発に活動を行っています。4月からの取り組みだけでも、佐久島の海岸ボランティア清掃活動、海洋環境探究講座の受講、オーストラリアでの研修に2名が参加、三校交流会、手話体験講座の実施、県教委主催子ども若者ゼミナールへの参加など、部員の皆さんがさまざまな場面で活躍をしています。

次に、私たち豊橋商業高校の近況報告をさせていただきます。7月下旬にツナグプロジェクトとして、地元IT企業と本校を含む東三河地区の高校とマッチングフェアを開催し、600名の高校生がPLATに一堂に会しました。就職・進学も好調で、就職については昨年より求人数も増え、その数は1500人以上に迫る勢いです。進学においても、国公立大学を目指す者や関東・関西の有名大学に照準を絞っている者など、こちらも成果がでそうな予感がします。

部活動の面では、弓道部がインターハイ予選で男女団体・男女個人優勝とパーフェクト優勝。そして、インターハイでは個人優勝、なんと日本一となりました。他に簿記部、ワープロ部も全国大会に出場しました。女子バレー部は東三河地区第2位、ハンドボール部は東三河地区5年連続優勝と輝かしい成績を残しました。これらの生徒の活動や日頃の様子を見ると、まさしく「今が旬!の豊橋商業高校」と言えると思います。

豊橋RCの皆様には、今後もしもご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

IAC顧問メッセージ

石野 淑美 IAC顧問



日頃から本当に多くのご支援をいただき、生徒共々大変感謝しております。今年度は例年の約2倍の新入会員を迎えることとなり、とてもにぎやかに活動しています。さて、この6月には、初めて佐久島のクリーン作戦に参加させていただくことができました。

新入会員の多くが参加し、海洋ゴミであるマイクロプラスチックについての理解を深めるなど、有意義な活動をすることができました。9月には豊橋RACの活動である表浜の海岸清掃にも参加させていただくので、活動の最初から意識を持って行動ができることと思います。

また、夏には生徒たちから、お揃いのポロシャツを作りたいとの要望があり、希望者でポロシャツを作成しまし

た。暑い中での活動も多くなってきていますので、少しでも活動しやすくてきたらいいなと思っています。紺色のポロシャツの左胸に、水色でインターアクトのマークを入れました。またどちらかでロータリークラブの皆様と活動する際にお披露目できたら嬉しいです。

引き続きご支援のほど、よろしく申し上げます。

IAC代表メッセージ

IAC副会長 森 心夏 さん

日々の活動を支えてくださっているロータリアンの皆さま、校長先生を始め顧問の先生方に心から感謝申し上げます。皆さまのおかげで、私たちは地域社会に貢献し、多くの方々に笑顔をお届けができていると思います。

私たちは1ヶ月ほど前に、テーブルマナーの講習会に参加させていただき、基本的なマナーを学びました。教えていただいた内容をしっかりと身につけることができ、会員のみんなもテーブルマナーの自信が少しついたと思います。将来このような食事の場面があったら、テーブルマナー講習会で学んだ事を思い出し活かすことができると思います。引き続き皆さまのご協力のもと、これからも共に素晴らしい活動ができるよう取り組んでいきたいと思っています。



IAC委員長挨拶

久保田 充三 IAC委員長



本日は、豊橋IACの皆さん一人ひとりに1年間という活動をされてきたか、報告をして頂く予定でした。

ロータリーの新年度が始まりこの2か月足らずの間にも、インターアクトクラブは、様々な活動を行っています。先生方との懇談会から始まり、アイプラザ豊橋で2760地区の全インターアクトクラブが参集した年次大会、新入生歓迎会を兼ねたテーブルマナー講座、オーストラリアで行われた青少年海外派遣研修、豊川高校・桜丘学園孫便りインターアクトクラブ3校交流会が行われました。奉仕の心を持った若者が一人でも増えたら、未来は明るいと感じます。



台風の影響で急きょ例会が休会となりインターアクトアワーが開催できなくなっていました。例会でお話をしようとしていたことを以下に書かせていただきます。

豊橋商業高校さんは、今から28年前の平成8年に創立90周年を迎えられ、豊商創立90周年記念事業実行委員会から一冊の記念誌が発刊されました。「豊商の群像1 以信会の人々」というタイトルのこの本です。表紙には同校の校訓の「以信為本」の四文字が大きく記されています。



その記念誌の6頁には、次のように書かれています。

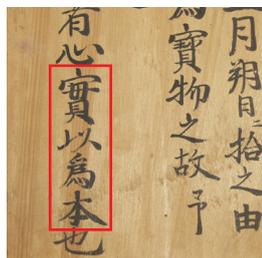
(以下原文のまま)

【二川の紅林醤油の紅林辰郎さんは本校とは関係ない人ですが、元禄の頃の武右衛門さんが門先にて拾い上げた小豆袋入一升を店先に保管し、落とし主を待ったが、この小豆、年を経れども虫つかず、よって家宝となし歴代伝えて今に及ぶ箱書きに「以信為本」とこの家の家訓は「以信為本」というのも不思議な縁です。】

ある知人から「お宅の事がここに出ていますよ」とこの記念誌を見せられ驚いたのは、先ほど名前の出た辰郎 私の父本人でした。私どもには、特に家訓はないのですが、「以信為本」の四文字を大切に守るようにと代々語り継がれて、夫々が「座右の銘」としてきました。ただ、よその方には余り話さないように言われてきたので、この話を一体どこで聞きつけたのか不思議でならなかったそうです。後にこの話をした犯人は、実は私の祖父だったと分かりました。

画像はQRコードで閲覧して下さい。一升の小豆の入る木箱に箱書きをしたのは私の11代前の先祖紅林豊信です。書かれたのは今から325年前の元禄12年(1699年)の5月吉祥日で、父親である武右衛門豊繁(とよしげ)がその3ヶ月前の2月13日に亡くなっています。記載されている内容を簡単に訳しますと「父豊繁が若かりし頃のある年の元旦にこれを拾った。それを宝物として受け継ぎ、尊敬する親の「思いやり」の気持ちを忘れずに生きていきたい」と書かれているのはこういう内容ですが、言い伝えでは、豊繁は落とし主が困っているだろうと家の軒先にアズキ袋を吊るして、落とし主が現れるのを何年も待ったが、ついに現れなかったため、これを大切に保管し、「困っている人の事を考えてまことをつくそう」という紅林家の心のよりどころとしてきたというものです。記念誌に書かれていることと少し違うのは「以信為本」の四文字ではなく、「實以為本」と書かれていて、現物を見せることなく言葉で言い伝えて来たため「実」が「信」に変わっていったものと想像しております。「実」の意味を広辞苑で見ますと「まこと」「まごころ」とあります。意味はどちらも余り変わらないものと思います。

7月のテーブルマナー講習会の時、間瀬校長先生と隣席となった際にお聞きしましたところ「しんをもつてもとなす」と読まれているとのことでしたが、私どもは「まことをもつてもとなす」と言い伝えております。意味は「信用第一」とい



うことで、ほぼ一緒です。何ゆえに余りよその方にお話をしなかったのかと言いますと「道で拾ったものを、宝物にしているとは」と笑われるのがオチで凡そ褒められるようなことではないので身内だけの伝えごととして来たのです。この小豆のことが頭の中にありましたので、私は今年度のクラブのカラーをアズキ色にしました。



会長報告

先週8月23日豊橋市役所に於いて創立75周年記念事業の第1弾(記念事業②:寄付部門)として、牛川の渡しの案内看板を縮小したタペストリーとAEDを豊橋市浅井市長に対し寄贈してまいりました。寄贈式には、当クラブから、佐々木利政創立75周年記念実行委員会委員長、佐藤裕彦同副実行委員長、大塩啓太郎同記念事業②推進リーダー、久保田充三同実行委員、植村忠慶同実行委員と、青木幹事、私会長の紅林の7名が出席しました。

「牛川の渡し」は一級河川である豊川の両岸約70mを結ぶ渡し船として、豊橋市が昭和7年から無料で運航しています。今回寄贈した案内看板には平安時代末期から牛川の渡しが存在していたこと等の来歴が記され、船頭さんが描いた川を渡る様子や操業の仕方のイラストが描かれています。

浅井市長は挨拶の中で「昨年6月の台風2号の豪雨で下流に流された先代『ちぎり丸』は建造された田原市宇津江町の榊原造船所の近くで、奇しくも、26年前に就航を開始したのと同じ6月4日に発見された」というエピソードを披露されました。そして当クラブに対し感謝状が贈られました。寄贈式終了後は、市の土木監理課の担当者、取材の記者の方と共に現地に赴き、渡しの待合小屋に掲示された案内看板と、小屋内にAEDが設置されるのを見届けました。

幹事報告

青木良浩幹事



本日の例会が休会となったため、「WEEKLY号外」を発行しましたのでお読みいただき、休会となった「インターアクトアワー」の例会を仮想体験してください。



例会予定

今回のプログラム

9月5日(木) ロータリーの友月間にちなんで

- 9月12日(木) 社会奉仕について
- 9月19日(木) 休会
- 9月26日(木) フォーラム「社会奉仕」(夜間)

写真・音声の視聴はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

